



一歩一歩、一歩一歩：国立市HP→くたちの教育→国立市立小中学校へアクセス

国中だより

国立第一中学校
学校だより
平成26年度12月号
12月15日(月)発行



思いやり

副校長 山上 真哉

いまから100年以上前、近代経済学の父と呼ばれるアルフレッド・マーシャルという人が、ケンブリッジ大学教授就任講演で「経済学を学ぶためには、冷静な頭脳と温かい心 (Cool Head, but Warm Heart) を持たなくてはならない。そのような人材を育てるために最善を尽くしたい」と話したことは有名です。

“冷静な頭脳と温かい心 (Cool Head, but Warm Heart)”とは、論理的に物事を解明する冷静さとともに、高い道徳心で社会問題の解決に取り組まなければならないという教えです。

時代は変わっても、若者に望むことはあまり変わらないのかもしれませんが。

先日本校で行われた道徳授業地区公開講座のテーマは「思いやり」でした。このテーマには、校長の本校生徒に期待する熱い思いが込められています。本校の生徒は一所懸命に学力に取り組み、落ち着いた学校生活を送ることができ、学習や行事にもしっかり取り組むことができます。だからこそ「思いやり」の気持ちをしっかりともてる生徒になってもらいたい。人として成長していくために学力を伸ばし、成績を上げることだけではなく、人として成長していくために豊かな心をもった人間になってほしい。そのような校長の強い思いがありました。

その道徳授業地区公開講座の授業では、アルツハイマーを患った祖母と同居する家族の生活を扱った教材「一冊のノート」が使われました。あらすじは、以下の通りです。

祖母の物忘れが頻繁に起こるようになり、生活にも支障が出始めて家族は苛立ちを隠せません。孫である中学生の「僕」や弟もいつしか祖母に冷たくあたってしまう日々が続く中、ある日「僕」は、1冊のノートを見つけます。そのノートは、祖母がだんだん進みゆく病を自覚しながら書き記した日記でした。そこには日々の不安や苦勞が記されていましたが、日が経つにつれ字も内容もたどたどしくなり、判読が難しくなり、とうとう最後にはひとつの点が記されているだけになっていました。それを読み終えた「僕」がふと庭を見るとそこには祖母がしゃがんで草取りをしている後ろ姿がありました。しばらくその光景を見ていた「僕」は優しく祖母に声をかけました。「きれいになったね…」

中学生の祖母を思う気持ちに、自分を照らし合わせて考えてほしい。そんな願いのこもった、現代日本の家族に誰にでも起こりうる内容を扱った教材でした。

身近な家族への愛や思いやりは、身近すぎてかえって見えないことがあったりするものです。近すぎるばかりに、お互いに思いやりを忘れていることもあるものです。そんなことに気づかせてくれました。

ここで更に他人への思いやりについても考えてみたく、私の経験をお話します。

以前、三宅島の生徒たちを引率して都の駅伝大会に初めて参加した時のことです。

当時の駅伝大会は府中の河川敷で開催されていました。土手を往復するコースで都のレベルがどんなものか全く分からない状態での参加でした。初参加の結果は他のチームより大幅に遅れてのゴール、男女とも最下位でした。私たちは全員、最後のランナーがゴールするのを呆然と見守りながら、悔しさと恥ずかしさが混じり合った惨めな気持ちで大会を終え、心身共に疲労感でいっぱいになりました。

私たちはその日の船で島に帰らなければならないため、無言のまま帰る準備をし、始発のバスに乗るやいなや座席に倒れこみ、ほとんどの生徒たちは寝てしまいました。いつしか私も寝てしまい、ふと気が付くとバスには大勢の一般客が乗っていました。何気なくバスの中を見回すと、ちょうど女子生徒が前に立っている老人に席を譲っているところでした。生徒が見知らぬ人に席を譲っている——たったこれだけのことが私の胸を嬉しきでいっぱいにしてくれました。今まで懸命に練習してきた駅伝が惨敗し、心身ともに疲労困憊しているはずなのに…。三宅島では公共の乗り物は滅多に利用しないため、人に席を譲るなんて経験はないはずです。きっと声をかけるのに勇気がいったでしょう。それでも、その生徒は老人に席を譲りたかったのです。なぜならその老人には席が必要だろうと思いやったからです。

「思いやり」。この言葉は心に温かく響く言葉だと思います。今までの日本には確実にあったものであり、またこれからの社会に日々、誰もが新鮮な気持ちでもち続けてもらいたい心です。本校の生徒たちにはまずは身の回りの人に思いやりの心で接してほしいと思います。それが将来大きな力のうねりとなることを信じて…。

最後になりましたが2学期を終えるにあたり、保護者や関係者の皆さまの本校の教育活動へのご理解ご協力に感謝申し上げます。皆さま、良いお年をお迎えください。

2年ボランティア活動～大学通り花植え

大学通りの花植えボランティアも今年で6年目を迎えました。今年も「くにたち桜守り」の大谷さんのご指導により2年生が実施しました。花植えは11月28日（金）に行いました。大学通り沿いの花壇には、昨年同様に4,000を超える様々な花の苗や球根が、幾何学模様の色や種類を分けて植えるように用意されていました。生徒達の熱心な活動の結果、紅葉にマッチしたきれいな景色が出来上がりました。大学通りにお越しの際は、ぜひご覧下さい。



地域と共に

12月5日（金）に一橋大学前の花壇に花を植えてきました。

本校の花育み委員のみなさんと、ボランティアの生徒達で、パンジーとチューリップの球根を植えました。生徒達が配置を工夫し、丁寧に植えることができました。その間たくさんの人から感謝の声をかけられ、やりがいを感じた瞬間でした。

12月14日（日）に旭通り商店会でクリスマスコンサートが開催され、本校の合唱部が参加しました。たくさんの観客の前ですてきな歌声を響かせ、大きな拍手を頂きました。旭通り商店会には職場体験等で大変お世話になっています。こういう機会に少しでもお役に立てることを嬉しく思い毎年楽しく参加させて頂いています。



第6回中学生「東京駅伝」大会

11月6日（木）、第6回中学生「東京駅伝」大会の国立市選抜選考会が国立一中グラウンドで行われました。この大会は2年生が対象で東京都市区町村50チームによる大規模なレースです。昨年は大雪のため中止になってしまい、今年度は昨年度の分まで力を出して上位を目指し、頑張ってくれることと思います。

「一中の出場者」

男子

北岡宗理（2-1） 山西博登（2-1） 高岩克樹（2-2）
東條 慧（2-3） 大沼諒祐（2-4）

女子

恩田美咲（2-1） 佐藤 舞（2-2） 八百幸和奏（2-2）
大塚未夢（2-3） 河内結子（2-3） 中野美海（2-3）
山勢結香（2-3） 中山友香（2-4） 古田絢子（2-4）
細井真琳（2-4） 桑原 萌（2-4）



冬休みが、間近に迫ってきました。充実した休みとなるよう次のことを心がけてください。

- 1 自分自身を振り返り、新しい年への希望と意欲をもとう。
- 2 規則正しい生活をしよう。
- 3 計画的・継続的な学習に取り組もう。
- 4 家族・地域社会の一員としての自覚を高める機会にしよう。
- 5 事故防止に努めよう。
- 6 非行など問題行動を起こさない。かかわらない。
- 7 外出の際の約束を守ろう。



「表彰」平成26年度 税の作文 全国納税貯蓄組合連合会 優秀賞 上田 彬正（2-4）
多摩納税貯蓄組合連合会 入賞 渡邊 小万智（2-3）
市長賞 田中 萌子（2-1）

平成26年度 税の標語 地区会長賞 堀 流音（1-1） 宍戸 彩（3-5）
佳作 矢島 真歩（1-3） 岸井 雄佑（3-3） 山内 麻央（3-5）

「命の大切さ」ポスター展 最優秀賞 関口 真悠（2-3）

《12月、1月の主な予定》

12月

- 12日（金） 全校朝礼
- 18日（木） ボランティア1年
- 23日（火） 天皇誕生日
- 24日（水） 給食終 大掃除
- 25日（木） 終業式
- 26日（金） 冬季休業始め



1月

- 8日（木） 始業式 避難訓練（集団下校）
- 9日（金） 給食始 専門委員会
- 12日（月） 成人の日
- 15日（木） 教育委員と生徒会役員の懇談
- 17日（土） 土曜公開授業 新入生保護者会
- 19日（月） 振替休業日
- 21日（水） 部活動無し
- 21日（水）～23（金） 移動教室1年
- 26日（月）～27（火） 都立推薦入試
- 30日（金） 生徒会朝礼

